

## 若手僧侶に関する動向調査 意識調査アンケートの結果報告（安居未経験者）

曹洞宗宗務庁  
人事部運営企画室

### ◆調査の目的

運営企画室では、「若手僧侶に関する動向調査」（2023年12月曹洞禅ネットなどに掲載）を実施し、得度や若手僧侶の減少、その速度が国の人口減少を上回るほど深刻であることを報告した。これに関連して、本調査は宗門の若手僧侶に対してアンケート形式の意識調査を実施したものである。10代から30代の若手僧侶及び僧侶を目指そうとしている方が、寺院や僧侶に対して、今どのような考え方をしているのか意識調査を行い、曹洞宗宗務庁における業務の基礎資料として活用することを目的としている。

### ◆調査の概要

10代から30代の若手僧侶及び僧侶を目指そうとしている方を、安居経験者、安居中の掛搭僧、安居未経験者の3グループに分け、それぞれに応じた調査を実施した。

なお、安居経験者及び安居中の掛搭僧を対象とした調査は終了しており、集計結果は曹洞宗報及び曹洞禅ネットで公開している。

### ◆調査の方法

本調査では、曹洞宗宗務庁で管理するデータに基づき、宗侶の子あるいは出家者で学生年代の方を抽出し、該当寺院（662カ寺）に調査依頼の通知文を発送した。併せて、駒澤大学及び愛知学院大学にも調査依頼を行った。調査方法は、ウェブ形式で無記名のアンケートとし、調査期間は2024年4月1日（月）～2024年5月10日（金）とした。有効回答数は234件であった。

※図表中の「n」は、設問に対する回答者の総数。

※図表中の構成比（％）は、小数点第2位以下を四捨五入している。

※複数回答と記載していない設問は、すべて単一回答。

◆回答者の属性

(Q1) 性別

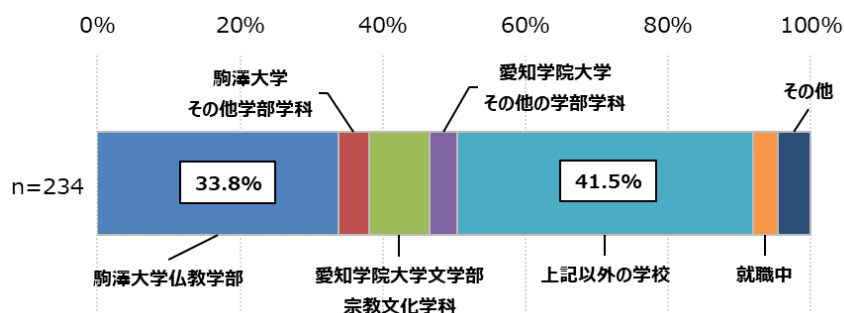
(n=234)		
	回答数	%
男性	226	96.6
女性	7	3.0
回答しない	1	0.4

(Q2) 年齢

(n=234)		
	回答数	%
18歳	49	20.9
19歳	62	26.5
20歳	50	21.4
21歳	60	25.6
22歳	13	5.6

(Q3) 立場

(n=234)		
	回答数	%
学生（駒澤大学仏教学部）	79	33.8
学生（駒澤大学の上記以外の学部）	10	4.3
学生（愛知学院大学文学部宗教文化学科）	20	8.5
学生（愛知学院大学の上記以外の学部・学科）	9	3.8
学生（上記以外の学校）	97	41.5
就職中（僧侶以外の仕事）	8	3.4
その他	11	4.7



(Q4) 出身地

(n=234)		
	回答数	%
北海道	9	3.8
東北	46	19.7
関東	39	16.7
中部	66	28.2
近畿	27	11.5
中国	16	6.8
四国	7	3.0
九州沖縄	24	10.3

(Q5) 居住地

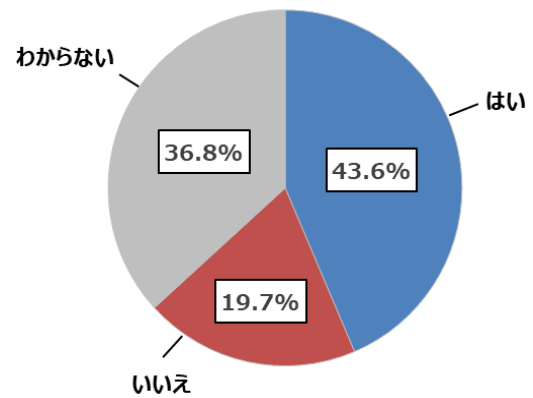
(n=234)		
	回答数	%
北海道	3	1.3
東北	11	4.7
関東	123	52.6
中部	51	21.8
近畿	19	8.1
中国	6	2.6
四国	2	0.9
九州沖縄	18	7.7
海外	1	0.4

(Q6) 実家は曹洞宗寺院か。

(n=234)		
	回答数	%
はい	221	94.4
いいえ	13	5.6

(Q7) 将来、僧侶として活動したいか。

(n=234)		
	回答数	%
はい	102	43.6
いいえ	46	19.7
わからない	86	36.8



(Q7) を立場別に集計すると、駒澤大学や愛知学院の学生は比較的「僧侶として活動したい」という回答が多く、それ以外の学生や就職中の人は「僧侶として活動したい」が少ない傾向が見られた。

	(n=234)		
	回答数		
	はい	いいえ	わからない
学生（駒澤大学仏教学部）	57	9	13
学生（駒澤大学の上記以外の学部）	4	0	6
学生（愛知学院大学文学部宗教文化学科）	12	1	7
学生（愛知学院大学の上記以外の学部・学科）	2	6	1
学生（上記以外の学校）	21	28	48
就職中（僧侶以外の仕事）	1	1	6
その他	5	1	5

以降の設問は、僧侶として活動したいと回答した人と、僧侶として活動するかわからない、または活動しないと回答した人に分けて分析を行った。

以下、「将来、僧侶として活動したい」と回答した人の調査結果 (n=102)

### ◆「僧侶」という職業を選択する理由について

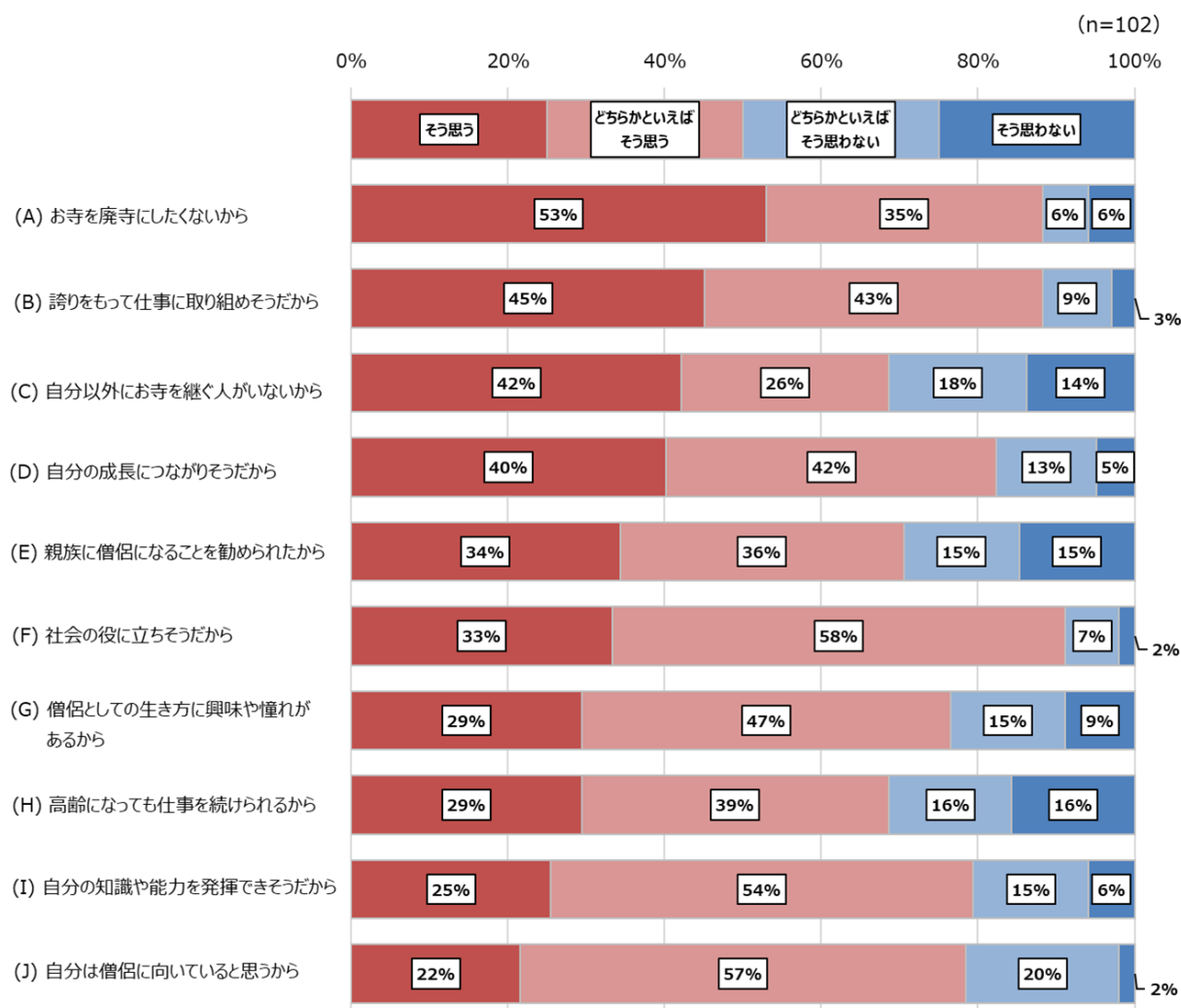
(Q7)で「将来、僧侶として活動したい」と回答した102人に、その理由として(A)～(U)の21項目を挙げ、自分の考えにどの程度あてはまるか4段階評価で尋ねた。

まず、「そう思う」「どちらかといえば、そう思う」が7割以上と多かった項目は以下の通りである。

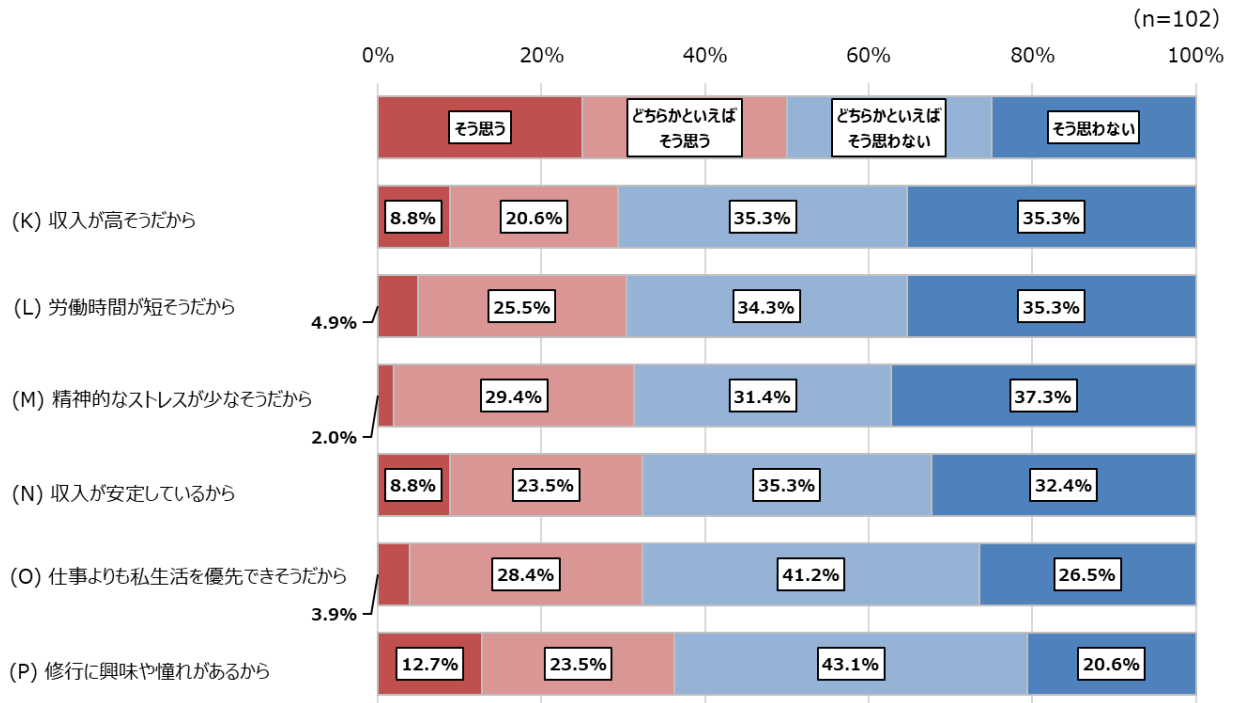
この中で、「(F) 社会の役に立ちそうだから」「(A) お寺を廃寺にたくないから」「(B) 誇りをもって仕事に取り組みそうだから」「(D) 自分の成長につながりそうだから」は肯定的意見が8割～9割を占め、特に(A)は「そう思う」という明確な回答が約5割と最も多い結果となった。

その他に、僧侶の生き方に対する興味・憧れの高さや、僧侶としての適性が備わっていると考えることも職業選択の動機として高いといえる。また、僧侶という職業を通して社会貢献をすること、自身の知識や能力を発揮することを期待している傾向も見られる。

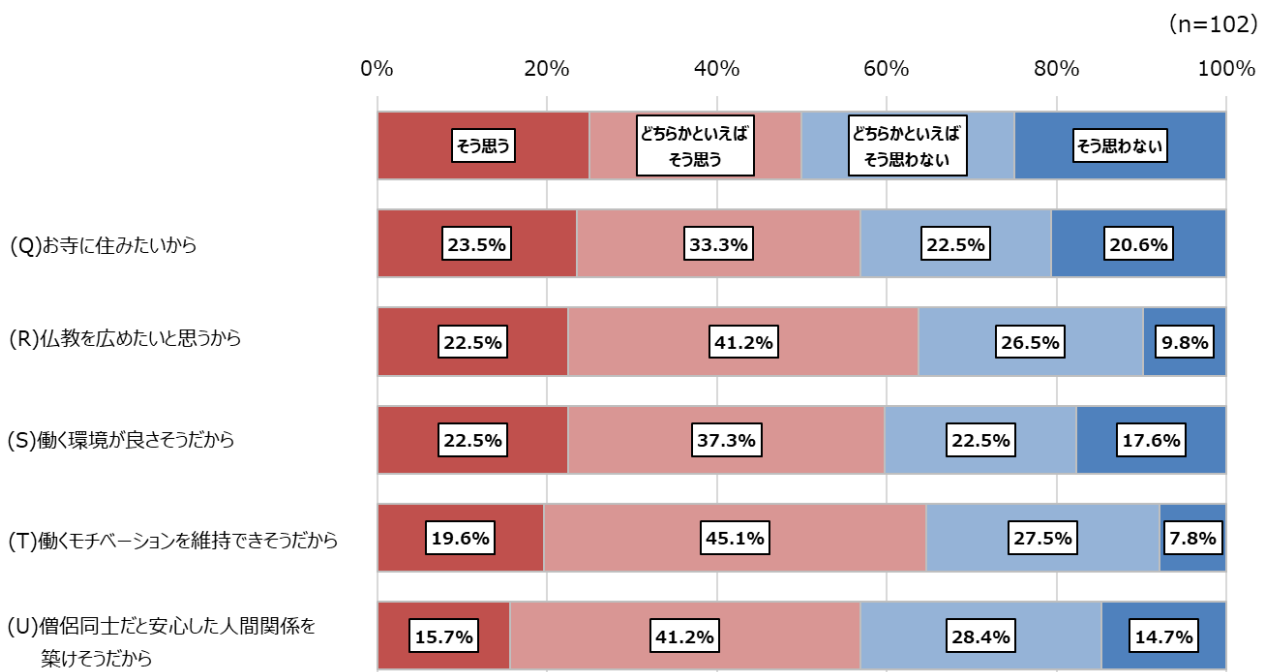
### (Q8)「僧侶として活動したい」と回答した理由



次に、「そう思わない」「どちらかといえば、そう思わない」が6割～7割と多かった項目は以下の通りである。収入や労働時間、精神的なストレスなど労働条件や環境については、僧侶になることへの動機としては低いと言える。



その他に以下の項目は、わずかに肯定的な回答が多いものの、肯定と否定の回答が同程度であった。



### ◆後継予定の寺院について

次に、後継する予定の寺院については、86.3%が「後継する寺院が決まっている」と回答しており、後継予定の寺院の住職との関係性は「実父/実母」が85.2%と多い。さらに、(Q9)で後継する寺院が決まっていると回答した88人について、後継する予定のお寺は経済的に安定していると思うかを尋ねると、比較的「安定している」と思っている回答が多い結果となった。

(Q9) 後継する寺院が決まっているか。

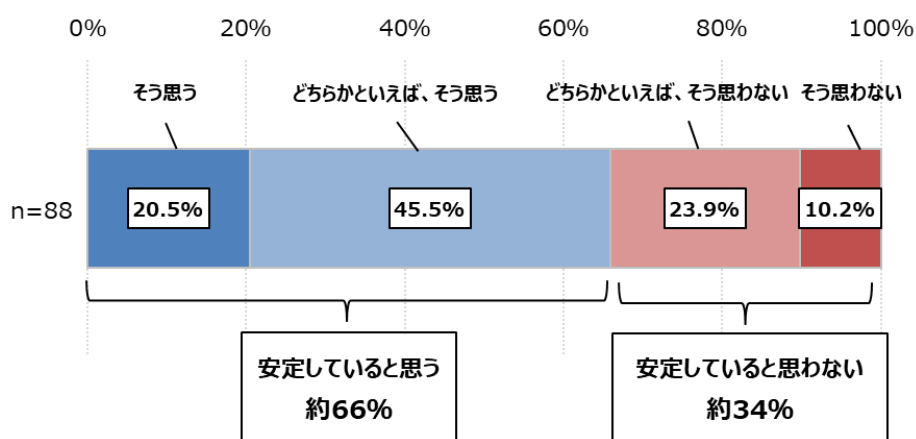
	(n=102)	
	回答数	%
決まっている	88	86.3
決まっていない	5	4.9
未定	9	8.8

(Q10) 後継する寺院の住職との関係性。

	(n=88)	
	回答数	%
実父/実母	75	85.2
養子縁組した父母または義父/義母	1	1.1
上記以外の親族	11	12.5
その他	1	1.1

(Q11) 後継する予定のお寺は経済的に安定していると思うか。

	(n=88)	
	回答数	%
そう思う	18	20.5
どちらかといえば、そう思う	40	45.5
どちらかといえば、そう思わない	21	23.9
そう思わない	9	10.2



## ◆修行について

次に、修行の予定については、約90%が「行く予定がある」とし、時期については「卒業後すぐ」が多い結果となった。修行によって何を得たいかには、僧侶に必要な知識や技術、僧侶になるための資格が多い結果となった。

なお、(Q14) 修行の期間については、自由記述欄を設けており、以下に回答の一部を記載する。

資格取得後できるだけ早く自坊に戻り、役に立ちたいと考えている人もいれば、僧侶としての知識や自信を得るため、あるいは本山への貢献のために長く修行したいという回答も複数あった。また、就職や学業を続けたいといった理由で在学中に修行を考えている、特殊安居で資格取得を考えているといった回答も見られた。

(Q12) 修行に行く予定があるか。

(n=102)		
	回答数	%
ある	92	90.2
ない	1	1.0
未定	9	8.8

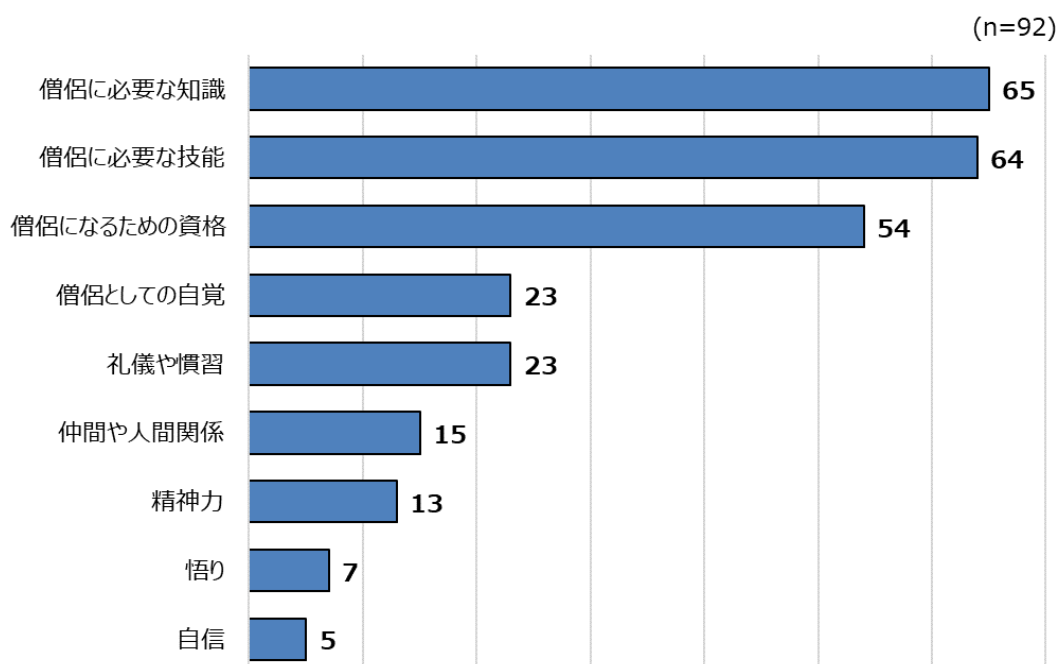
(Q13) いつ修行に行くか。

(n=92)		
	回答数	%
在学中	8	8.7
卒業後すぐ	70	76.1
卒業後すぐではないがいつか	14	15.2

(Q14) 具体的な修行期間は決めているか。

(n=92)		
	回答数	%
はい	55	59.8
いいえ	37	40.2

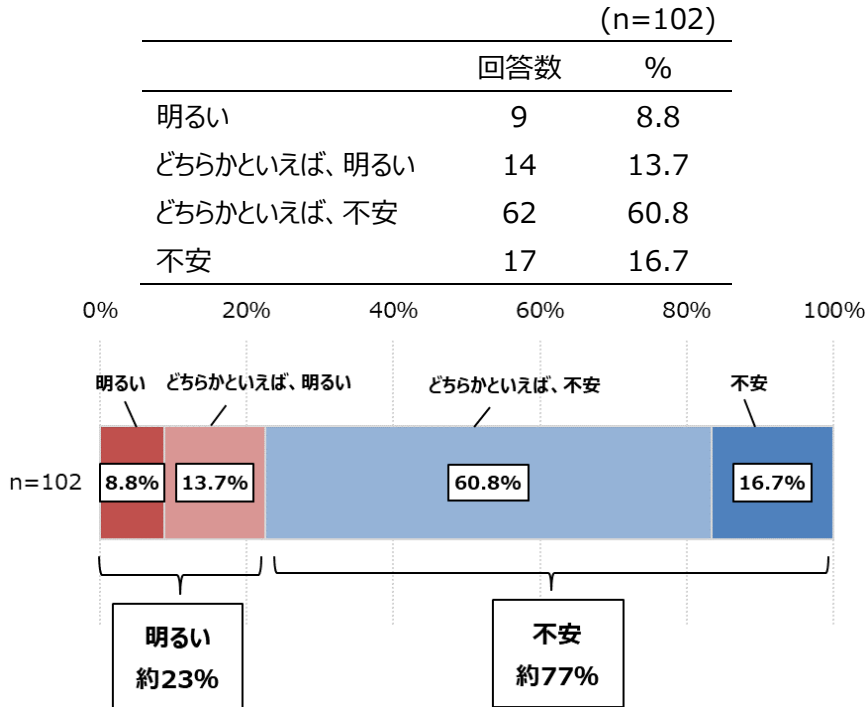
(Q15) 修行によって何を得たいと思うか。 ※最大3つまで回答



### ◆僧侶という仕事の将来展望

次に、僧侶として活動したいと考えている人に、僧侶という仕事の将来への展望を尋ねると、「どちらかといえば不安」は60.8%、「不安」は16.7%と、約77%が「明るい」よりも「不安」の回答であった。

(Q16) 僧侶という仕事に将来の展望はどのくらいあると思うか。



### ◆僧侶以外の仕事への興味・関心について

次に、将来、僧侶以外の仕事に就職する考えがあるか、さらに僧侶と比較して興味や関心を持っている職業があるかを尋ねた。2つの設問に対する回答を組み合わせると、僧侶以外の職業に興味・関心が高く就職も考える人と、僧侶以外の職業への興味・関心が低く就職すると考えない人で、大きく二分された。

		(Q17) 将来、僧侶以外の仕事に就職する考えはあるか。				
		考えている	少し考えている	ほとんど考えていない	考えていない	合計
(Q18) 僧侶と比較して興味や関心を持っている職業や仕事はあるか。それはどのくらいの興味や関心か。		約86%				
興味・関心 高い	(a) 僧侶以上に興味や関心を持っている仕事がある	13	4	1	0	18
	(b) 僧侶と同じくらい興味や関心を持っている仕事がある	9	10	5	0	24
興味・関心 低い	(c) 僧侶ほどではないが興味や関心を持っている仕事がある	4	13	15	4	36
	(d) 興味や関心を持っている仕事はない	1	2	10	11	24
合計		27	29	31	15	

約67%



### ◆兼職について

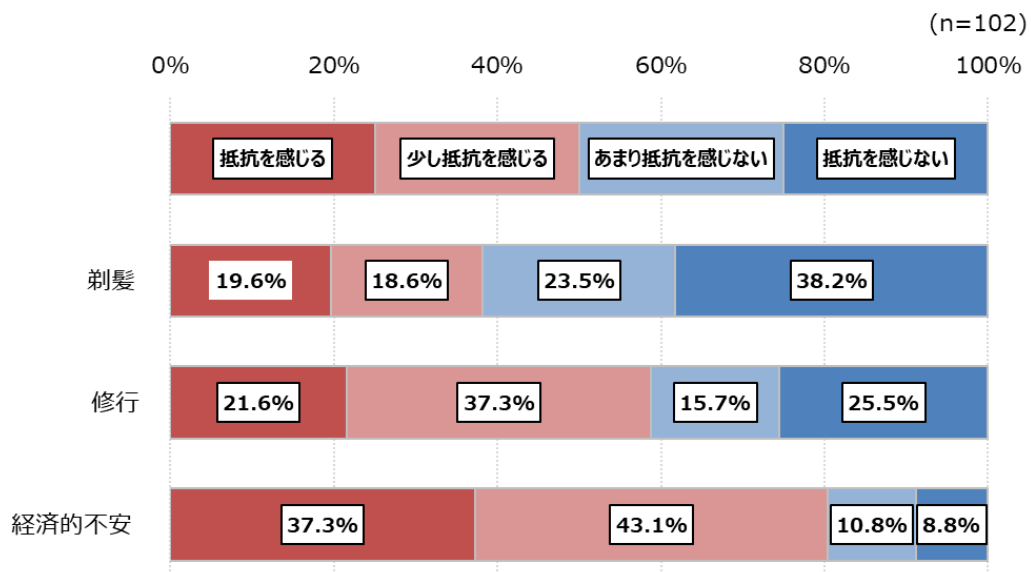
次に、生活のために僧侶と僧侶以外の仕事を兼職しなければならないと感じているか尋ねた。(Q18)の設問の回答と組み合わせると、他の職業への興味・関心の高低に関係なく、生活のために僧侶以外の仕事を兼職しなければならないと考えている人が大部分であり、兼職を考えずに僧侶として活動しようと考えている人は非常に少ないと言える。

		(Q19) 生活のために僧侶と僧侶以外の仕事を兼職しなければならないと感じているか。				
(Q18) 僧侶と比較して興味や関心を持っている職業や仕事はあるか。それはどのくらいの興味や関心か。		考えている	少し考えている	ほとんど考えていない	考えていない	合計
興味・関心 高い	(a) 僧侶以上に興味や関心を持っている仕事がある	15	2	0	1	18
	(b) 僧侶と同じくらい興味や関心を持っている仕事がある	14	9	1	0	24
興味・関心 低い	(c) 僧侶ほどではないが興味や関心を持っている仕事がある	12	17	6	1	36
	(d) 興味や関心を持っている仕事はない	4	12	5	3	24
合計		45	40	12	5	

### ◆剃髪・修行・経済的不安への抵抗感

次に、僧侶として活動したいと考えている人に、「剃髪」「修行」「経済的な不安」について、どの程度抵抗を感じるか尋ねた。その結果、「剃髪<修行<経済的な不安」の順で抵抗感が増し、特に修行は約6割、経済的不安は約8割もの人が抵抗を感じていることが分かった。

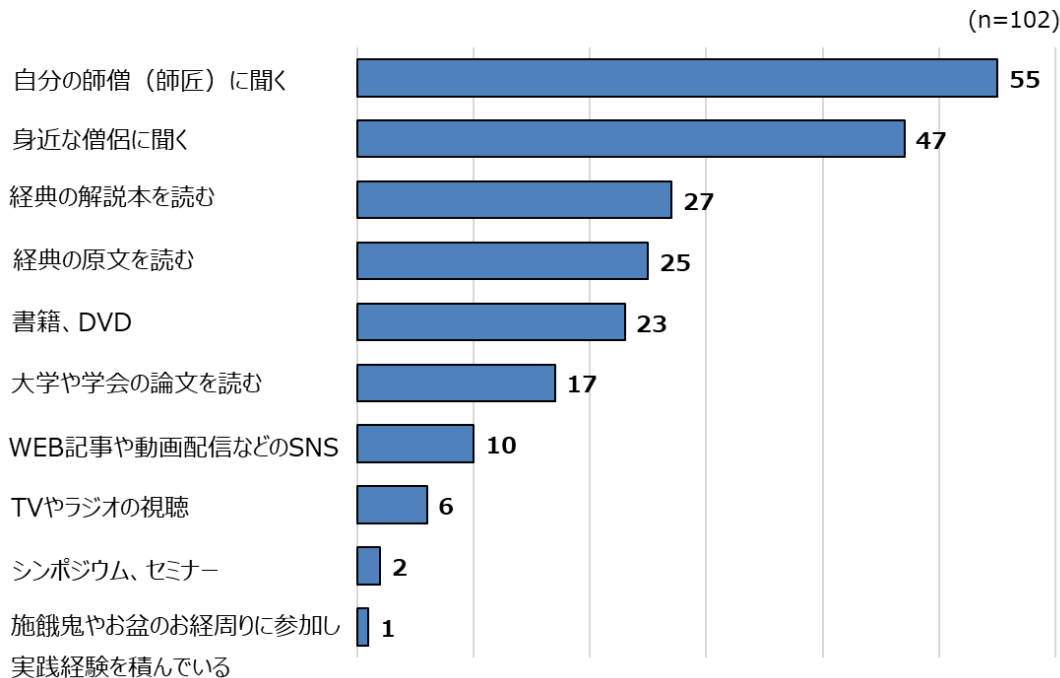
(Q20～Q22) 剃髪/修行/経済的な不安がある場合、抵抗を感じるか。



## ◆学習手段について

次に、今後僧侶となっていくために学校の授業以外に利用している学習手段を尋ねると、自分の師僧（師匠）に聞く、身近な僧侶に聞くが多い結果となった。

(Q23) 今後僧侶となっていくために、学校の授業以外に利用している学習手段。(複数回答)



以下、「将来、僧侶として活動しない」または「わからない」と回答した人のうち、「実家が曹洞宗寺院」と回答した人の調査結果 (n=123)

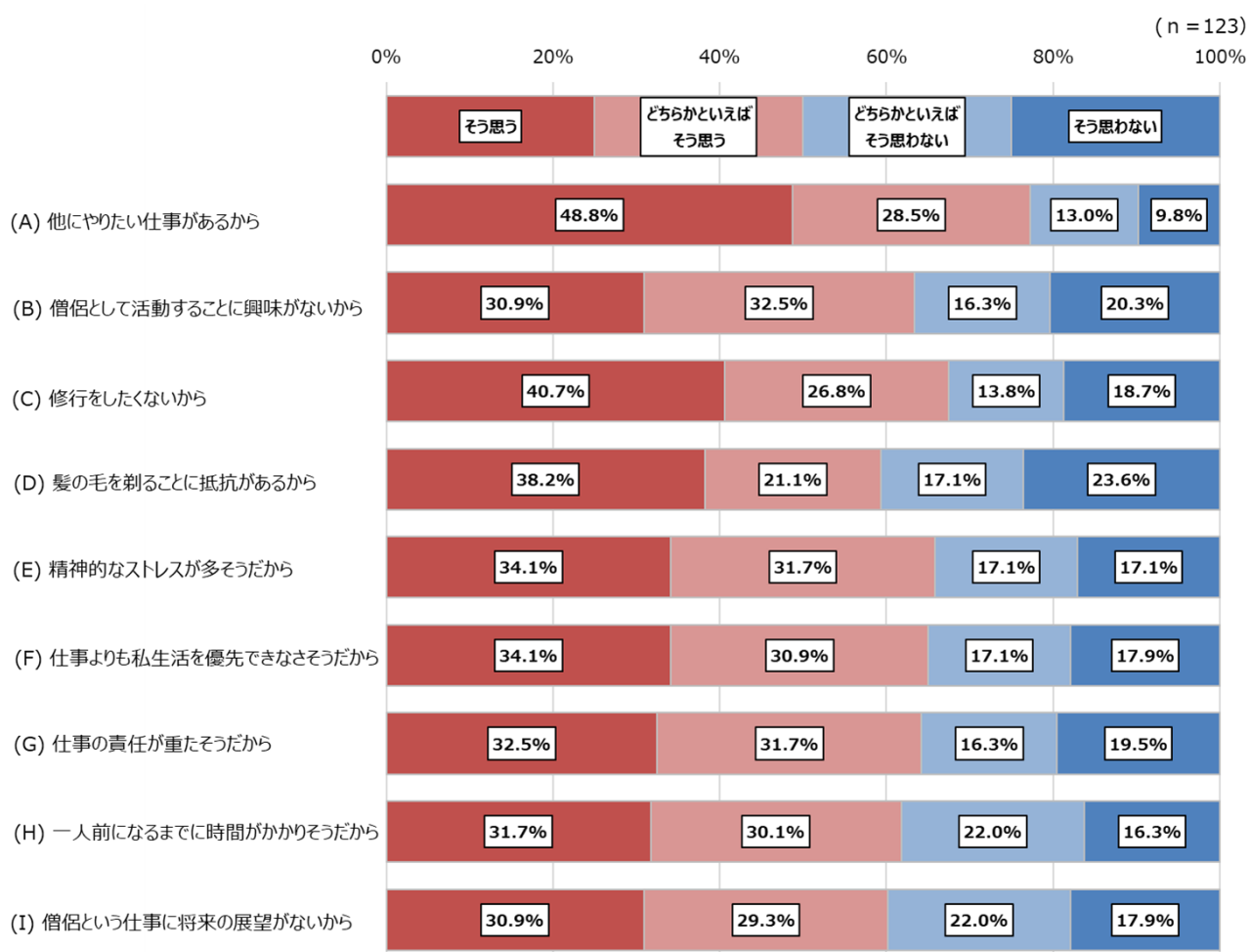
## ◆僧侶という職業を選択しない理由

(Q7) で「将来、僧侶として活動しない」または「わからない」と回答した 132 人のうち、「実家が曹洞宗寺院」と回答した 123 人に、その理由として (A) ~ (S) の 19 項目を挙げ、自分の考えにどの程度あてはまるか 4 段階評価で尋ねた。

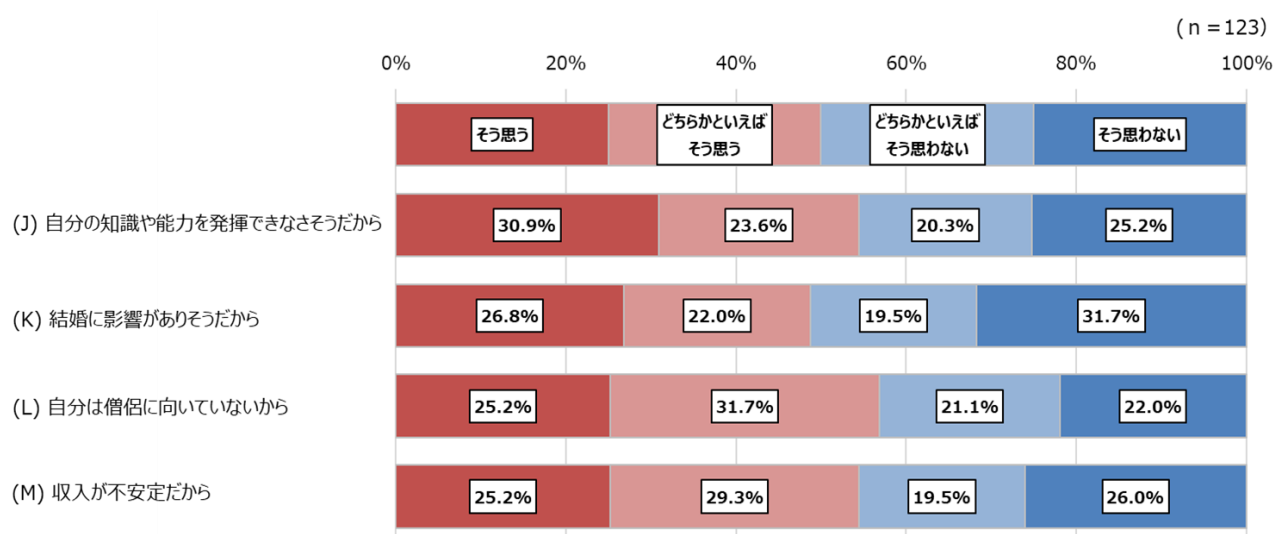
まず、「そう思う」「どちらかといえば、そう思う」が 6 割~8 割と多かった項目は以下の通りである。この中で、「(A) 他にやりたい仕事があるから」は肯定的意見が最も多く、「そう思う」だけでも約 5 割を占めていた。また、「(B) 僧侶として活動することに興味がない」も多いことから、僧侶という職業への興味や関心が低く、他の職業を選択している人が多いといえる。

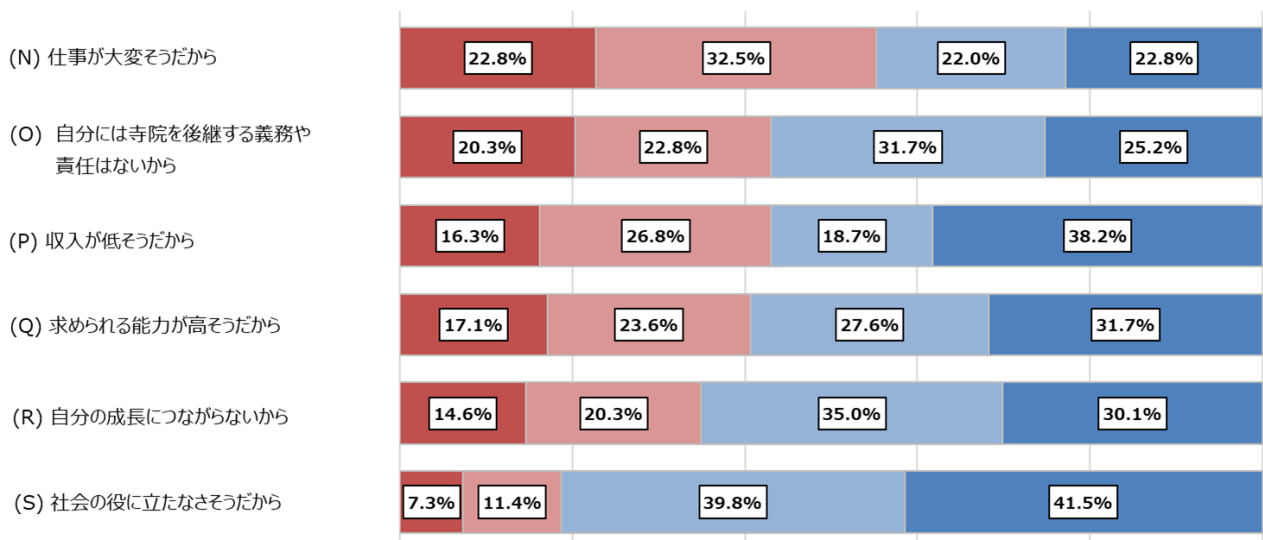
また、「(C) 修行をしたくないから」「(D) 髪の毛を剃ることに抵抗があるから」に対しても僧侶を選択しない理由として当てはまるという回答が多かった。さらに、「(E) 精神的なストレスが多そうだから」「(G) 仕事の責任が重たそうだから」「(F) 仕事よりも私生活を優先できなそうだから」「(H) 一人前になるのに時間がかかりそうだから」といった項目も多く、僧侶の仕事に「体力的・精神的にきつそう」「厳しそう」といった印象もあると思われる。

(Q24) 「僧侶として活動しない」「わからない」と回答した理由



次に、肯定と否定の回答が同程度、あるいは否定が多かった項目は以下の通りである。収入については僧侶として活動するかどうかの選択には大きく影響していないことが分かる。また、僧侶の仕事に対して意義がないとは思っておらず、寺院を後継することの義務感も感じているが、それが僧侶として活動しようと思うほどの動機にはなっていないと言える。

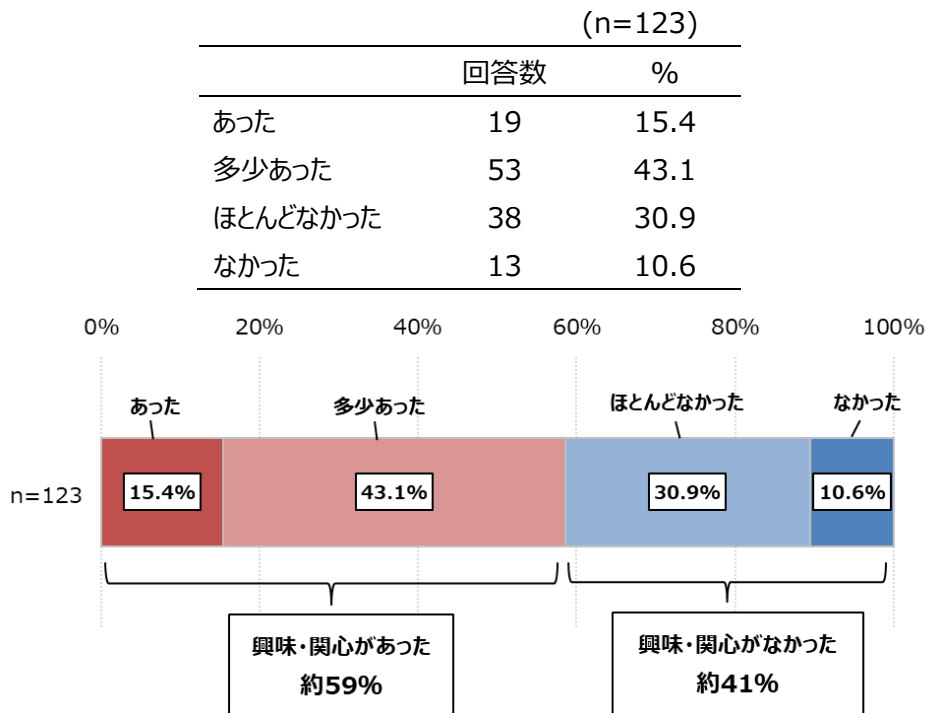




◆僧侶への興味・関心、抵抗感について

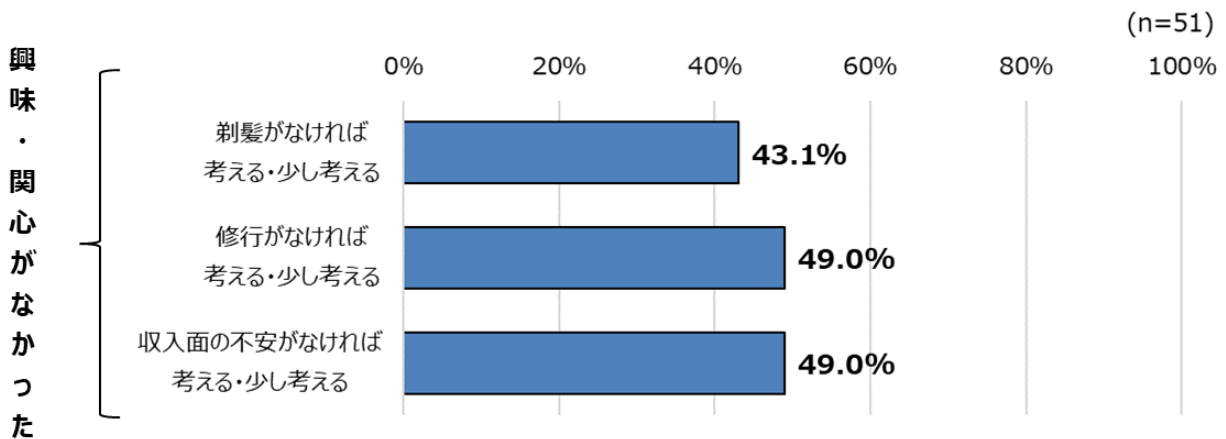
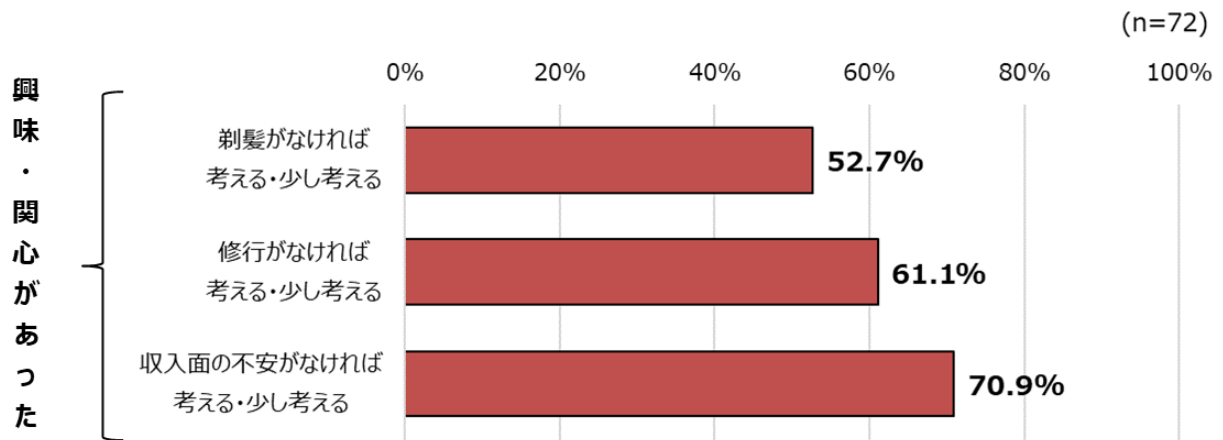
次に、これまで僧侶になることに興味や関心を持ったことがあるかを尋ねると、「あった」「多少あった」と回答したのは約6割いることが確認できた。

(Q25) これまで僧侶になることに興味や関心を持ったことはあるか。



さらに、「剃髪」「修行」「収入面の不安」がなければ僧侶になることを考えるか尋ねると、僧侶へ興味・関心を持ったことがある人は、「剃髪<修行<収入面の不安」の順で、解消されれば僧侶になることを検討するという回答が多くなることが分かった。特に、「収入面の不安」が解消されれば僧侶になることを検討すると回答したのは約7割にも及んだ。

一方で、僧侶へ興味・関心を持ったことがない人は、「剃髪」「修行」「収入面の不安」がなかったとしても、僧侶になることを「少し考える」「考える」と回答したのは4～5割程度であった。つまり、「剃髪」「修行」「収入面の不安」の有無は、僧侶になることを考えるかどうか大きく影響していないといえる。



(Q26～Q28) 剃髪/修行/収入面の不安がなければ、僧侶になることを考えるか。

	考える	少し考える	あまり考えない	考えない	合計
剃髪	34	26	34	29	123
修行	38	31	27	27	123
収入面の不安	35	41	30	17	123

〈本調査に関するお問い合わせ〉  
曹洞宗宗務庁 人事部運営企画室  
TEL：03-3454-5411

本レポート及び運営企画室の各種レポートは「曹洞禅ネット」にも掲載しています。